

「ボク」の「ワタシ」の「歯科法医学」

日本歯科大学生命歯学部 歯科法医学講座 岩原 香織

みなさんは「歯科法医学」の何に興味がありますか。

みなさんにとっての「歯科法医学」って、どんなイメージでしょう。

私は、大学卒業後、臨床研修歯科医師、勤務医（開業歯科医院勤務、医学部口腔外科勤務）、医学部大学院を経て、歯科法医学講座に勤務しました。

歯科大学での臨床実習生や臨床研修医、勤務医の時は、歯科臨床に一生懸命でした。

医学部の大学病院勤務と大学院は口腔外科に所属し、外来、入院患者さんの担当を行いながら、感染症の研究を行いました。しかし、口腔外科医になるつもりも研究者になるつもりもなく、一般歯科の臨床手技、治療理論や治療計画立案などの考え方を修得しようと、研修会や勉強会等に参加し、必死に勉強しました（つもりです）。そのため、当時の私を知る人たちは、歯科法医学に進んでいる私に対して、「体を壊して臨床ができなくなった？」、「頭がおかしくなった？」などと言います。



そんな私が、なぜ、今、歯科法医学の世界にいるのか、なぜ日本歯科大学なのかをお話しさせていただきながら、「ワタシの歯科法医学」である「臨床歯科法医学」について、学生さんへの講義内容、実際に行っている実務や研究、歯科医師等への研修会や講演会の内容を紹介させていただきます。みなさんのイメージにある「歯科法医学」と比較してみてください。

ただ、「ワタシの歯科法医学」も「歯科法医学」のたった一部です。

人として、医療従事者として、歯科医師として、社会に還元できる歯科法医学を学び、「ボクの歯科法医学」、「ワタシの歯科法医学」をみつけてみませんか。

死 死体現象 死亡の証明

個人識別 歯科的個人識別

医療倫理 医療事故 医事紛争

災害医学 災害医療

損傷と創傷 虐待

